

事業シート

事業名		H28年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
こども国際交流事業		1,816 千円	千円	千円	1,816 千円	千円
総合政策部市民自治推進課						
根拠法令						
事業の目的・対象	目的：同じアジア圏の国を理解し、友好関係を構築するとともに、発展途上国の実情や日本が行っている国際協力活動を現地で学び、国際的視野を持つ人材を育成する。 対象：市内在住の中学生					
事業の必要性	進展するグローバル化への対応や、まちの国際化を進めるため、国際的な視野を持った人材を育成する必要がある。					
事業の内容	作文と面接により選考し選抜された市内の中学生10人をフィリピン・マニラに派遣した。 1 事前研修 (6月～7月 全8回) フィリピン人講師による講話や交流の準備等を行った。 2 訪問 7月28日～8月1日(4泊5日) ・学校訪問、来苦経験のある若者との文化交流 ・JICA事務所での研修 ・スラム地域視察 ・世界遺産等の史跡見学 3 帰国報告会 9月10日 研究成果を保護者と市長に報告した。また、研究成果と報告書を団員の所属する学校に巡回掲示し、事業の周知を図った。					
						
				事前研修	学校訪問	
						
				スラム地域視察	帰国報告会	
コスト		人件費				
事業費 (H28年度決算額)	1,816 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
人件費	2,021 千円	担当正規職員	1,373 千円	0.2	人	
総 計	3,837 千円	嘱託職員	648 千円	0.2	人	
		再任用 (7R)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名	単位	H28年度	H27年度	H26年度	
	事業の派遣人数/応募者数	人	10/16	10/17	10/23	
成果目標	本事業への参加を通じて、若い世代の国際交流を進め、国際的な視野を持った人材を育成する。 また、研究成果や報告書を市民に広く公開し、事業効果の拡大を図る。					
事業の課題、今後の方向性等	事業の効果は高いため、今後も継続して事業を実施する。派遣先については、定期的に見直しを行う。					
特記事項						